

文化講演会

令和3.11.13(土) 金沢公会堂

鎌倉殿をとりまく御家人衆の相克と金沢

講師：永井 晋先生(関東学院大学客員教授)



源範頼像

来年の NHK 大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」の時代背景となる源頼朝の挙兵以前から、北条義時が没するまでの金沢の歴史をたどる。その中で、頼朝の弟・範頼を供養する寺として今日に伝わる金沢区の太寧寺(たいねいじ)、鎌倉の東の入口として重要だった六浦津とそれに関わる人々、六浦を境界線として向かい合っていた秩父平氏と三浦氏などの歴史と人物を明らかにする。

日 時：令和3年11月13日(土)

開 場：13:00 開演：13:30 終演：15:30

会 場：金沢公会堂(マスク着用)

参加料：500円(18才以下は無料) 当日、受付でお支払下さい

募集人数：300人(申込先着順)

申込：下記①または②の方法で(詳細は裏面参照)

①文化協会のホームページから

横浜金沢文化協会のホームページにある

申込フォームを開き、必要事項を記入し、送信をクリック。

②往復ハガキで

宛 先：〒236-0011 金沢区長浜 106-8 オフィスかなざわ内

横浜金沢文化協会 文化講演会係

記入内容：「文化講演会申込」と記載し、申込人数・申込者の郵便番号・住所

・氏名・よみがな・電話番号・同伴者全員の氏名・よみがな を記入

主催：NPO法人横浜金沢文化協会

後援：横浜市金沢区役所 一般社団法人横浜金沢観光協会

NHK 横浜放送局 NPO法人横浜金沢シティガイド協会

源範頼について

-- 「鉈切の芝居絵」から --

源範頼は、弟・義経とともに平家滅亡を果たして鎌倉幕府の成立に大きな貢献をした。しかし、兄・頼朝に謀反を疑われ、修善寺で誅殺された悲運の武将である。

範頼の別邸が瀬ヶ崎辺りにあり、その邸内に薬師寺（持仏堂）があった。範頼は修善寺から横須賀の浦郷辺りに逃げのびて、洞窟に隠れていたとする説が伝わっている。このとき追手に追われた浜が「追浜」で、土地の漁師が追手を鉈で切り付けて範頼を助けたところが「鉈切（なたぎり）」だという。しかし、逃走を観念した範頼は持仏堂の薬師寺で自害した。

南北朝～室町時代に薬師寺は太寧寺と呼ばれるようになり、昭和18年に強制疎開の命を受けて範頼の墓は寺と共に現在の片吹に移された。



鉈切の芝居絵
漁師が鉈で追手を切り倒し、範頼を助けたシーンを演じる歌舞伎の案内看板（明治時代）

永井講師について

略歴

関東学院大学国際文化学部比較文化学科 客員教授（元県立歴史博物館 企画普及課長、元県立金沢文庫 主任研究員）

著書

『鎌倉幕府の転換点「吾妻鏡」を読みなおす』吉川弘文館（2019年）、『金沢貞顕』吉川弘文館（2003年）、『金沢北条氏の研究』八木書店（2006年）、『北条高時と金沢貞顕―やさしさがもたらした鎌倉幕府滅亡』山川出版社（2009年）、『鎌倉源氏三代記 一門・重臣と源家将軍』吉川弘文館（2010年）、『源頼政と木曾義仲 勝者になれなかった源氏』中央公論新社（2015年）、『平氏が語る源平争乱』吉川弘文館（2018年）

ホームページから申込の場合

ステップ1

「横浜金沢文化協会」で検索またはQRコードをスマホにかざして横浜金沢文化協会のトップページ

<https://www.yk-bunka.com/>

を開く



ステップ2

表示されたトップページ本文「文化講演会・・・」の末尾にある「こちら」をクリックすると下記の様な申込フォームのページが開きます



往復はがきで申込の場合

往信

〒236-0011

(返信の裏面)

横浜市金沢区
長浜 106-8

白紙のまま

オフィスかなざわ内
横浜金沢文化協会
文化講演会係

返信

(往信の裏面)

文化講演会申込

申込者の
郵便番号
住所
氏名

- ① 申込人数 ____人
- ② 申込者の
郵便番号 住所
氏名（よみがな）
電話番号
- ③ 同伴者全員の
氏名（よみがな）
〔コロナ対策のため、
全員分を記入願います〕